

GBP 授業報告：「ビジネスマーケティング」の授業にて、猿田彦珈琲店を訪問しました。



グローバルビジネスプログラム（GBP）では、企業とのコラボ授業である「ビジネスマーケティング」を開講しています。この授業では、今年度も昨年度に続き、猿田彦珈琲株式会社の協力を得ながら、マーケティングを学んでいます。この授業の一環として7月7日には、猿田彦珈琲の旗艦店である調布焙煎ホールを訪問しました。そこでは、代表取締役の大塚氏をはじめ、焙煎や商品開発担当の方々から珈琲豆の仕入れや秋の新作についてまで様々なお話を伺いました。

学生達は実際に開発途中の新作を前に、そのコンセプトやマーケティングについて学びました。学生からはユニークなアイデアも飛び出し、商品開発プロセスを体感することができました。また、珈琲豆の貯蔵室では、20カ国以上から仕入れているという大量の珈琲豆の前に、珈琲の「味」だけではなく、各国の珈琲農家との直接の対話を通じて生産者のこだわりや生産背景の把握といった「トレーサビリティ」の重視、さらには珈琲農家が搾取され貧困にあえいでいるという問題解決に貢献したいという「サステナビリティ」を大事にしていることを伺い、猿田彦珈琲の原点に触れることができました。

珈琲豆の仕入れから商品にしてお客様に届けるという一連の流れの中で、どこにこだわり、どのような企業努力をしているのかを学ぶだけではなく、各担当の方々の「美味しい珈琲を届けたい」との熱い思いに仕事とは何か、キャリアをどう築くか、というテーマにまで及ぶ、内容の濃い授業となりました。今後学生達は、今日仕入れた情報をもとに商品開発に関する提案をグループ毎にまとめて猿田彦株式会社へ提出します。



GBP では今後もこうした企業の協力を得ながら、実践的な学びを深めていく予定です。